

令和4年度 青森県県土整備部優良工事表彰

工事の概要

工事名	青森港改修（施改補助）フェリー大橋橋梁補修工事		
受注者名	株式会社 澤田建設		
工事場所	青森市新田地内	請負金額	59,103,000円
工期	令和3年7月20日～令和4年3月25日	成績評定点	83点
完成年月日	令和4年3月22日	推薦公所	東青地域県民局地域整備部
主任（監理）技術者	木村 篤	総括監督員	小川 たける
工事内容	舗装工 1式 橋梁伸縮継手工 1式	主任監督員	樋口 穂積
		監督員	相馬 宏

優良技術者表彰

推薦理由

青森港臨港道路1号線は、青函フェリーや陸上風車等を取扱う埠頭と国道7号を結び、フェリー航路を利用した大型トラックや陸上風車を運搬する特殊車両等を含め、日当たり交通量が1万台を超える重要な路線である。この1号線に存するフェリー大橋は、1号線と国道280号との立体交差点に位置する橋長195.6mのPC橋で、昭和52年の供用開始後、耐震補強や補修を必要に応じて実施してきた。しかし、平成30年度に定期点検を行った結果、経年劣化による部材の腐食等が著しいことから、令和2年度から大規模な橋梁補修工事に着手しており、本工事では、橋面の舗装補修及び伸縮装置の交換を行っている。舗装補修では、交通量の多い幹線道路であることを考慮し、分解促進型タックコート「スーパータックゾール（国交省NETIS：TH-14008-VE）」を任意で採用し、養生時間の大幅な削減による交通規制時間の短縮効果が得られたほか、タイヤ付着率が低い特性（従来のタックコートの1/10以下）により周辺環境の保全効果が得られた。また、舗装のジョイント部には、クラック防止及び止水効果の確保を目的として、成型目地材を任意で施工するなど舗装の長寿命化に貢献した。

以上、「工事等に関し新技術や新工法の活用、省力化等の創意工夫に努め、生産性向上に特に顕著な成果をあげたもの」に該当することから、青森県県土整備部優良工事に推薦するものである。

工事写真等

【完成】



【分解促進型タックコートの施工】



大型貨物車等の商業車の通行が多いことから、交通制限時間を短縮するよう養生時間が少ない分解促進型タックコート（スーパータックゾール）を採用

【成型目地材の施工】



舗装のジョイント部のクラック防止及び止水効果を確保するため成型目地材を採用

受賞コメント

この度は、栄誉ある青森県県土整備部優良工事表彰を賜り誠にありがとうございます。受賞にあたりまして、ご指導賜りました監督職員の皆様、ご協力いただいた関係者の皆様にご心より感謝と御礼申し上げます。

施工地のフェリー大橋は交通量が多く特に大型車の通行量も多いことから、安全対策には細心の注意を払いながらの施工でした。本工事の安全管理も評価していただいたものと大変うれしく思います。

これからもこの受賞を励みとし優れた施工管理、高い品質管理、徹底した安全管理、地域社会への貢献を目標に一層の努力をさせていただきますので今後ともご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長
工藤 一也主任技術者
木村 篤